



◆当面する重点作業

1. 高温により果実の日焼けが多くなる。葉摘みや支柱立ては果実温が十分に上がった午後から実施する。
また、徒長枝の切りすぎや葉の摘みすぎに注意する。
2. スモモヒメシクイの被害が発生し始めている。8月は防除間隔を空けず定期的に防除する。
被害果がある場合は適切に処理を行う。
3. 早生種の収穫を適期に行う。早獲りしないよう食味を確認してから収穫を始める。
シナノリップは、地色が黄緑色になってから収穫する。地色のカラーチャートを参考にする。
サンつがるは、前半は着色したものから収穫し、後半は地色が抜ける前までに収穫を行う。
4. 定期的にかん水を実施する。特に排水が悪かった園は根が弱っているため、高温が続いた場合は早めにかん水を行い樹の保護を図る。
5. 鳥害対策を工夫して行う。シナノリップなど特に着色の良い品種は重点的に対策を図る。
6. 炭そ病の果実病斑が見られたら、採って土中に埋める。

◆第11回の薬剤散布について

1. 散布日：7月29日(土)～8月2日(水) 収穫中・収穫直前の品種には今回散布は行わない。
2. 調合量：水1000ℓ当り ※混用順に記載

| | | |
|-----|---|---|
| 散布日 | 月 | 日 |
|-----|---|---|

| 農薬名 | 使用量 | 対象病害虫 | 収穫前/使用回数 |
|-----------|------|-------------------------------------|----------|
| 展着剤 | 10mℓ | — | — |
| サムコルフロアブル | 40mℓ | シクイムシ類・ハマキムシ類・キンモンホソガ | 前日/年3回 |
| オーソサイド水和剤 | 125g | 黒星病・斑点落葉病・すす斑病・ すす点病・輪紋病・炭そ病・褐斑病 | 前日/年6回 |
| オマイト水和剤 | 133g | ハダニ類 | 3日前/年1回 |

3. 散布量：10a当り ⇒600ℓ以上、
4. 留意事項
 - ①果面の汚れ防止とハダニ類への効果を高めるため、「展着剤」を機能性展着剤スカッシュ 1,000倍（水1000ℓ当り100mℓ）に代えてもよい。
 - ②オーソサイド水和剤は、もも・ネクタリン・野菜等に飛散しないように注意する。
 - ③殺ダニ剤（オマイト水和剤）が入るので散布量を多めにし、たっぷりとかける。
なお、高温時の散布は薬害の発生が心配されるので避ける。梨には薬害が出るので飛散しないように。
 - ④殺ダニ剤を使用する場合は、散布の3～5日前に下草刈を行うか除草剤により雑草を処理して、ハダニを樹上に上げてから散布する。
 - ⑤炭疽病の初期病斑が見られる場合は土中に埋める。
 - ⑥収穫終了後の樹へも必ず散布する。
 - ⑦カルシウム欠乏による生理障害が心配される場合は、スイカル・カルビタ・カルタス 1,000倍（水100ℓ当たり100g）を加用散布する。
 - ⑧早生品種・収穫中の農産物・人・家・車に飛散しない様に注意する。

◆早生種（シナノリップ・サンつがる）の収穫出荷会講習会の開催について

| 開催日 | 曜 | 開催時間 | 品種 | 開催場所 | 担当 |
|-------|---|---------|-----------------|---------------------------|----|
| 7月31日 | 月 | 午前11:00 | シナノリップ サンつがる | 若穂果実流通センター ※電害荷受対応について | 松沢 |
| 8月4日 | 金 | 午前10:30 | シナノリップ サンつがる | 篠ノ井西部流通センター | 寺澤 |
| | | | シナノリップ サンつがる | 真島フルーツセンター | 根津 |
| 8月7日 | 月 | 午前10:30 | シナノリップ サンつがる | 松代総合センター ※電害荷受対応について | 松橋 |
| 8月9日 | 水 | 午前11:00 | シナノリップ | 信更流通センター | 寺澤 |

◆シナノリップの管理について

1) 収穫

果樹試験場での収穫予想は、8月5日頃（満開105日）ですが、バラツキが多いためあくまで参考として下さい。

熟期が揃わず早い時期から熟期を迎える果実があるので、適熟品から3～4回程度に分けて収穫作業を行う。8月1日頃より収穫できるものが出始める。一回りしてこまめに収穫して下さい。特に高接ぎ樹は日陰部分が遅くなり、樹勢が弱いと成熟（着色）が遅れる。

樹齢が増すに従い弱樹勢になりやすい傾向のため、新梢（果台枝）は20～30cm程度伸びるように維持したい。

2) 高接ぎ樹の管理

高接ぎ樹は樹勢が落ち着くまで内側が着色しにくい。光が当たる外側のみ着色。

混んでいる場合は夏季せん定（徒長枝の除去）を行う。

日当たりが悪い樹は、収量は減るが、冬のせん定で内側の枝の切除を行う。

3) 注意事項

着色の有無は、温度よりも光の当たる具合で決まる品種。

葉摘みの前に葉の影になっている所以外が着色するような、光が入りやすい樹形にする。

赤く着色していない果実の葉をたくさん摘んでも赤くなりにくい品種。

心カビ果の除去 熟度の進んでいる場合は心カビ果の場合があるので確認する。

《栽培に関する問合せ》

寺澤（篠ノ井西部・信田）：080-1188-5229／外谷（篠ノ井東部）：080-8048-6602

松橋（松代）：090-4816-6297／佐藤（川中島）：090-7179-9866

根津（更北）080-1203-8576／松澤（若穂）080-1191-5166

吉澤（全域・編集担当）：090-2543-0365／営農販売部（本所）：292-0930

○果樹のアドバイザー（流通センター長兼務）

※センター繁忙期になるため、電話をとれない場合がありますが、ご了承下さい。

伊藤（篠ノ井東部）080-2239-6816／松坂（篠ノ井西部）080-1188-413

《販売に関する問合せ》各流通センター・共選所／営農販売部（本所）：292-0930

《資材に関する問合せ》各JAファーム・営農資材センター・経済部／農業資材課：299-3311